

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村(保険者)名	横芝光町
所属名	福祉課介護班

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価結果	課題と対応策
1	①自立支援、介護予防、重度化防止	高齢者の活動量を減少させた新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の期間は、少なからず生活機能の低下に影響を及ぼしています。このため、心身の生活機能の低下を防ぐフレイル予防や介護予防・重度化防止の取組みによる高齢者の自主的・継続的介護予防活動を支援していくことが重要性を増しています。	介護予防の推進	保健事業と一体的に高齢者の健康の維持・増進に関する効果的な取組を実施します。 ・介護予防訪問介護相当(延人) R6 R7 R8 500 500 500 ・訪問型サービスB(延人) R6 R7 R8 検討 検討 検討 ・介護予防通所介護相当(延人) R6 R7 R8 1,400 1,400 1,400 ・通所型サービスA(延人) R6 R7 R8 検討 検討 検討 ・通所型サービスB(延人) R6 R7 R8 120 240 240 ・通所型サービスC(延人) R6 R7 R8 530 530 530 ・介護予防ケアマネジメント給付管理数(件) R6 R7 R8 1,000 1,000 1,000		・介護予防訪問介護相当(延人) R6 R7 R8 435 305 ・訪問型サービスB(延人) R6 R7 R8 0 0 検討 ・介護予防通所介護相当(延人) R6 R7 R8 1,180 1,269 ・通所型サービスA(延人) R6 R7 R8 0 0 検討 ・通所型サービスB(延人) R6 R7 R8 63 37 ・通所型サービスC(延人) R6 R7 R8 424 416 ・介護予防ケアマネジメント給付管理数(件) R6 R7 R8 1,982 1,995	△	介護予防ケアマネジメントの給付管理数は横ばいであり、新たな支援者があまり増えていない状況です。介護予防サービスを生活に取り込んだ方が生活の向上・維持につながる可能性のある方に支援が行き届いていない可能性もあることから、介護予防の取組みについて、さらなる周知を図ることで対象者が支援の手から漏れることのないよう取組みを進めていきます。また、総合事業の充実により、サービス利用の選択肢を増やしていく必要があります。
2	①自立支援、介護予防、重度化防止	高齢者の活動量を減少させた新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の期間は、少なからず生活機能の低下に影響を及ぼしています。このため、心身の生活機能の低下を防ぐフレイル予防や介護予防・重度化防止の取組みによる高齢者の自主的・継続的介護予防活動を支援していくことが重要性を増しています。	一般介護予防事業	地域において自主的に行われる介護予防活動を育成・支援し、全高齢者を対象に介護予防事業を実施します。 また、高齢者の自立した生活継続のために個々の健康課題に着目したフレイル対策を展開します。 ・介護度重度化防止推進員による地区介護予防教室参加者数(延人) R6 R7 R8 500 550 600 ・介護度重度化防止推進委員研修会開催回数(回) R6 R7 R8 12 12 12 ・一般介護予防評価事業の参加者(延人) R6 R7 R8 12 12 12 きらり若返り運動 2,400 2,900 3,400 元気はつらつ運動教室 1,800 1,900 1,900 地区サロン 2,400 2,500 2,600 ・通いの場へのリハビリテーション職員派遣回数(回) R6 R7 R8 20 24 28 ・訪問指導実施回数(回) R6 R7 R8 12 12 12		・介護度重度化防止推進員による地区介護予防教室参加者数(延人) R6 R7 R8 432 320 ・介護度重度化防止推進委員研修会(回) R6 R7 R8 10 10 ・一般介護予防評価事業の参加者(延人) R6 R7 R8 きらり若返り運動 4,114 6,244 元気はつらつ運動教室 1,831 2,007 地区サロン 2,953 3,476 ・通いの場へのリハビリテーション職員派遣回数(回) R6 R7 R8 15 20 ・訪問指導実施回数(回) R6 R7 R8 7 10	◎	介護予防事業への参加者は増加しているが、生産年齢世代の流出により高齢者世帯が増加する当町では、高齢者が自立して暮らすことのできる地域づくりを引き続き進める必要があり、さらなる活動の推進を図ります。

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)														
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策												
3	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>高齢者の活動量を減少させた新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の期間は、少なからず生活機能の低下に影響を及ぼしています。このため、心身の生活機能の低下を防ぐフレイル予防や介護予防・重度化防止の取組みによる高齢者の自主的・継続的介護予防活動を支援していくことが重要性を増しています。</p>	介護予防・生活支援の担い手の養成	<p>独居や高齢者のみ世帯が増加していくため、支援に関わる人材の育成・確保や高齢者が社会とつながりを持てる地域の活動環境整備を行います。</p> <p>・担い手養成講座養成者数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	10	10	10		<p>・担い手養成講座養成者数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	9	0		△	<p>地域課題から必要なサービスを検討するに当たっては協議体の活用が考えられますが、協議体メンバーの町職員・包括職員・生活支援コーディネーターが別々の場所に勤務していることから連携が取りづらいことが課題です。</p> <p>このため、形式的な協議会の開催のみではなく、ロゴチャットなどの利用も検討し、コンタクトを取る機会を増やすことで、地域課題への相互認識をより深めて事業に取り組みます。</p>
R6	R7	R8																		
10	10	10																		
R6	R7	R8																		
9	0																			
4	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を守る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	介護予防ケアマネジメント	<p>事業対象や要支援1・2の介護認定を受けた方へ要介護状態にならないようケアマネジメントを行います。</p> <p>・【再掲】介護予防ケアマネジメント給付管理数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	1,000	1,000	1,000		<p>・【再掲】介護予防ケアマネジメント給付管理数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>1,982</td> <td>1,995</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	1,982	1,995		◎	<p>介護予防ケアマネジメントの給付管理数は横ばいであり、新たな支援者があまり増えていない状況です。</p> <p>介護予防サービスを生活に取り込んだ方が生活の向上・維持につながる可能性のある方に支援が行き届いていない可能性もあることから、介護予防の取組みについて、さらなる周知を図ることで対象者が支援の手から漏れることのないよう取組みを進めていきます。</p>
R6	R7	R8																		
1,000	1,000	1,000																		
R6	R7	R8																		
1,982	1,995																			

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)														
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策												
5	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を守る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	総合相談支援業務	<p>高齢者が住み慣れた地域で生活を継続していくことができるよう、関係機関と連携しながら適時適切な相談支援を行います。</p> <p>・総合相談支援業務(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>420</td> <td>430</td> <td>440</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	420	430	440		<p>・総合相談支援業務(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>354</td> <td>346</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	354	346		◎	<p>高齢化率が上がっている中、相談件数はあまり増えていない状況です。高齢者のみ世帯の方に地域包括支援センターの存在が認識されていない可能性もあることから、センターについてのさらなる周知を図ることで必要な支援が行き届くように取組みを進めていきます。</p>
R6	R7	R8																		
420	430	440																		
R6	R7	R8																		
354	346																			
6	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を守る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	権利擁護業務	<p>認知症や認知機能の低下により判断能力が不十分な高齢者の権利擁護と虐待防止に取り組みます。</p> <p>・権利擁護・虐待対応相談件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	30	30	30		<p>・権利擁護・虐待対応相談件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	4	8		○	<p>権利擁護・虐待対応相談件数は計画よりも少ない数値で推移しています。しかしながら、件数としては前年度よりも倍に増えており、相談内容としては、身体的虐待についての相談件数が7件(3名)・介護放棄が1件と早期に対応が必要なケースが増加している状況です。引き続き関係機関と連携を図りながら、慎重に相談対応を行います。</p>
R6	R7	R8																		
30	30	30																		
R6	R7	R8																		
4	8																			

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策
7	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を守る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<p>地域ケア会議や事例検討会を定期的を実施し、ケアマネ・栄養士・薬剤師などの専門職との協働や関係機関との連携を通じて、包括的・継続的ケアマネジメントの後方支援を行います。</p> <p>・個別地域ケア会議(回) R6 R7 R8 7 8</p> <p>・自立支援型地域ケア会議(回) R6 R7 R8 12 11</p> <p>・地域ケア推進会議(回) R6 R7 R8 1 1</p> <p>・ケアネット会議開催回数(回) R6 R7 R8 5 5</p> <p>・ケアマネージャーからの相談件数(件) R6 R7 R8 14 17</p> <p>・主任ケアマネージャー連絡研修会開催回数(回) R6 R7 R8 1 0</p>		<p>・個別地域ケア会議(回) R6 R7 R8 7 8</p> <p>・自立支援型地域ケア会議(回) R6 R7 R8 12 11</p> <p>・地域ケア推進会議(回) R6 R7 R8 1 1</p> <p>・ケアネット会議開催回数(回) R6 R7 R8 5 5</p> <p>・ケアマネージャーからの相談件数(件) R6 R7 R8 14 17</p> <p>・主任ケアマネージャー連絡研修会開催回数(回) R6 R7 R8 1 0</p>	◎	<p>地域包括支援センターが主催する各種会議の開催を通して多職種での連携を進めています。</p> <p>地域での包括的・継続的マネジメントの更なる推進のために、引き続き連携強化を図っていきます。</p>
8	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を守る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	【再掲】地域ケア推進会議	<p>医療・介護サービスに関わる多職種の協働で、個々の高齢者への最適な支援を検討を行います。</p> <p>・【再掲】個別地域ケア会議(回) R6 R7 R8 7 8</p> <p>・【再掲】自立支援型地域ケア会議(回) R6 R7 R8 12 11</p> <p>・【再掲】地域ケア推進会議(回) R6 R7 R8 1 1</p>		<p>・【再掲】個別地域ケア会議(回) R6 R7 R8 7 8</p> <p>・【再掲】自立支援型地域ケア会議(回) R6 R7 R8 12 11</p> <p>・【再掲】地域ケア推進会議(回) R6 R7 R8 1 1</p>	◎	<p>地域包括支援センターが主催する各種会議の開催を通して多職種での連携を進めています。</p> <p>地域での包括的・継続的マネジメントの更なる推進のために、引き続き連携強化を図っていきます。</p>

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)														
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策												
9	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	在宅高齢者短期入所事業	<p>介護保険対象外の高齢者を在宅で介護する家族が、病氣や冠婚葬祭などで一時的に介護ができない場合に、養護老人ホーム等で預かるサービスを提供しています。</p> <p>・在宅高齢者短期入所事業利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	5	5			<p>・在宅高齢者短期入所事業利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	5	5		△	<p>高齢化率が上がっている中、利用人数はあまり増えていない状況です。必要とする方に制度の存在が認識されていない可能性もあることから、更なる周知で制度が有効に活用されるように取組みを進めていきます。</p>
R6	R7	R8																		
5	5																			
R6	R7	R8																		
5	5																			
10	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	緊急通報装置の設置	<p>独居高齢者を対象に、急病時等の不安を和らげ安心して生活を送ることができるよう緊急通報装置を貸与します。</p> <p>・緊急通報装置設置件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>92</td> <td>92</td> <td>92</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	92	92	92		<p>・緊急通報装置設置件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>72</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	80	72		○	<p>高齢化率が上がっている中、設置件数は減っている状況です。必要とする方に制度の存在が認識されていない可能性もあることから、更なる周知で制度が有効に活用されるように取組みを進めていきます。</p>
R6	R7	R8																		
92	92	92																		
R6	R7	R8																		
80	72																			

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)														
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策												
11	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	はり・きゅう・マッサージ利用助成	<p>65歳以上の高齢者を対象に、医療費の抑制と介護予防につなげるため施術費用の一部を助成しています。</p> <p>・はり・きゅう・マッサージ助成件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	2,500	2,500	2,500		<p>・はり・きゅう・マッサージ助成件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>4,598</td> <td>4,125</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	4,598	4,125		◎	<p>高齢化率が上がっている中、助成件数は減っている状況です。目標値より件数は大きく上回っていますが、必要とする方に制度の存在が認識されていない可能性もあることから、更なる周知で制度が有効に活用されるよう取組みを進めていきます。</p>
R6	R7	R8																		
2,500	2,500	2,500																		
R6	R7	R8																		
4,598	4,125																			
12	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	養護老人ホーム	<p>在宅での生活が困難な高齢者の状況に応じて入所措置を行います。</p> <p>また、施設での介護保険サービスの提供体制確保を図ります。</p> <p>・養護老人ホーム入所人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	30	30	30		<p>・養護老人ホーム入所人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>24</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	22	24		◎	<p>地域や関係機関との連携を取りながら、引き続き制度が有効に活用されるよう取組みを進めていきます。</p>
R6	R7	R8																		
30	30	30																		
R6	R7	R8																		
22	24																			

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)														
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策												
13	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	配食サービス	<p>日常生活に支障のある高齢者のみ世帯を対象に、安否確認と栄養改善を兼ねて自宅に食事を届けます。</p> <p>・配食サービス利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>105</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	105	110	110		<p>・配食サービス利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>111</td> <td>97</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	111	97		◎	高齢化率が上がっている中、利用人数が減っている状況です。必要とする方に制度の存在が認識されていない可能性もあることから、更なる周知で制度が有効に活用されるよう取組みを進めていきます。
R6	R7	R8																		
105	110	110																		
R6	R7	R8																		
111	97																			
14	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	家族介護用品の支給	<p>在宅にて要介護者・知的障害者(児)・身体障害者(児)を介護している方または本人に、身体的・精神的・経済的負担の軽減を目的として紙おむつを支給します。</p> <p>・家族介護用品の支給利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	2,000	2,000	2,000		<p>・家族介護用品の支給利用人数(延人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>2,152</td> <td>2,478</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	2,152	2,478		◎	引き続き制度が有効に活用されるよう取組みを進めていきます。
R6	R7	R8																		
2,000	2,000	2,000																		
R6	R7	R8																		
2,152	2,478																			

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)																										
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策																								
15	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	救急医療情報キット「救急 命のバトン」の配布	<p>家族等の連絡先、かかりつけ医や服用薬などの緊急時に必要な情報を記入し、冷蔵庫に保管する救急医療情報キットを配布し、救急救命の一助とします。</p> <p>・救急医療情報キット「救急 命のバトン」利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>700</td> <td>710</td> <td>720</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	700	710	720		<p>・救急医療情報キット「救急 命のバトン」利用人数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>608</td> <td>575</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	608	575		◎	高齢化率が上がっている中、利用人数が減っている状況です。必要とする方に制度の存在が認識されていない可能性もあることから、更なる周知で制度が有効に活用されるよう取組みを進めていきます。												
R6	R7	R8																														
700	710	720																														
R6	R7	R8																														
608	575																															
16	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における相談相手に関する設問では、4割の方が家族や友人・知人以外で相談できる人はいないと回答しています。</p> <p>また、同様の調査において、介護が必要になった場合に求める介護サービスとして、自宅での介護を望む回答が6割を占めています。</p> <p>町の高齢者人口は令和3年をピークに減少に転じていますが、高齢化率は増加の一途を辿る見込みで2040年には40.1%まで増える見通しであり、認知症高齢者の数も増していくことが考えられます。</p> <p>このため、総合的な相談支援の強化、医療と介護の連携、在宅生活を支える環境整備や高齢者の人権を護る取組など包括的な取組みの推進が必要です。</p>	医療・介護関係者の研修	<p>在宅医療と介護に関わる多職種が共に地域課題を考え共有して相互理解を深める機会を持ちます。</p> <p>・在宅医療と介護の連携推進研修会開催回数(回)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>・在宅医療と介護の連携推進研修会参加者数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>160</td> <td>160</td> <td>160</td> </tr> </table>	R6	R7	R8	2	2	2	R6	R7	R8	160	160	160		<p>・在宅医療と介護の連携推進研修会開催回数(回)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </table> <p>・在宅医療と介護の連携推進研修会参加者数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>72</td> <td>90</td> <td></td> </tr> </table>	R6	R7	R8	1	2		R6	R7	R8	72	90		○	多職種連携を目的に、講義形式とグループワークで研修会を実施しています。顔の見える関係を築き、相互理解を深めています。参加者数の目標値は、地域の現状から120程度が妥当であると考えられるため、過大な目標設定になっています。
R6	R7	R8																														
2	2	2																														
R6	R7	R8																														
160	160	160																														
R6	R7	R8																														
1	2																															
R6	R7	R8																														
72	90																															

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)																																																		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策																																																
17	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>高齢化が進み、認知症高齢者の増加が見込まれる中、国においては、令和5年6月14日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、認知症施策推進に関する基本理念と、国・地方公共団体・国民の責務が示されました。</p> <p>町では、国の認知症施策推進基本計画に基づき一層の認知症施策推進が求められています。</p>	認知症に対する正しい知識・理解の普及啓発	<p>認知症に対する不安や拒否感から、早期受診の機会を造ることで、症状の悪化や対応の遅れが多く見られます。このため、認知症に対する正しい理解の啓発を行います。</p> <p>・認知症サポーター養成講座開催回数(回)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>5</td><td>9</td><td></td></tr> </table>	R6	R7	R8	5	9			<p>・認知症サポーター養成講座開催回数(回)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>5</td><td>9</td><td></td></tr> </table>	R6	R7	R8	5	9		◎	<p>町内の小中学校での講座開催を主としながら、一般住民向けにも実施することができています。</p> <p>地域全体で認知症への理解を深めることが、新しい認知症観に基づく環境づくりには欠かせないことから、より多くの地域住民の方に講座を受講していただくことを目的として、より効果的な開催方法などを検討しながら、今後も取組みを進めていきます。</p>																																				
R6	R7	R8																																																						
5	9																																																							
R6	R7	R8																																																						
5	9																																																							
18	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>高齢化が進み、認知症高齢者の増加が見込まれる中、国においては、令和5年6月14日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、認知症施策推進に関する基本理念と、国・地方公共団体・国民の責務が示されました。</p> <p>町では、国の認知症施策推進基本計画に基づき一層の認知症施策推進が求められています。</p>	医療・介護による支援	<p>医療と介護が連携して支援を強化します。</p> <p>・認知症相談チーム(認知症初期集中支援チーム)対応件数(回)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table> <p>・チーム員会議開催回数(回)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table> <p>・認知症カフェ設置数(か所)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> <p>・認知症カフェ参加者数(人)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>200</td><td>250</td><td>250</td></tr> </table>	R6	R7	R8	12	12	12	R6	R7	R8	12	12	12	R6	R7	R8	1	1	1	R6	R7	R8	200	250	250		<p>・認知症相談チーム(認知症初期集中支援チーム)対応件数(回)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>10</td><td>16</td><td></td></tr> </table> <p>・チーム員会議開催回数(回)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>12</td><td>12</td><td></td></tr> </table> <p>・認知症カフェ設置数(か所)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td></td></tr> </table> <p>・認知症カフェ参加者数(延人)</p> <table border="1"> <tr><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>146</td><td>157</td><td></td></tr> </table>	R6	R7	R8	10	16		R6	R7	R8	12	12		R6	R7	R8	1	2		R6	R7	R8	146	157		○	<p>定期的な会議開催により連携を図っています。地域包括支援センターを中心とした認知症カフェに加え、食生活改善推進員を中心とした新たなカフェの取組みを始め、当事者やご家族が他者と交流できる場を増やすことができました。</p> <p>当事者や関係者の声を聞く場を設けながら、町施策を検討していきます。</p>
R6	R7	R8																																																						
12	12	12																																																						
R6	R7	R8																																																						
12	12	12																																																						
R6	R7	R8																																																						
1	1	1																																																						
R6	R7	R8																																																						
200	250	250																																																						
R6	R7	R8																																																						
10	16																																																							
R6	R7	R8																																																						
12	12																																																							
R6	R7	R8																																																						
1	2																																																							
R6	R7	R8																																																						
146	157																																																							

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策
19	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>高齢化が進み、認知症高齢者の増加が見込まれる中、国においては、令和5年6月14日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、認知症施策推進に関する基本理念と、国・地方公共団体・国民の責務が示されました。</p> <p>町では、国の認知症施策推進基本計画に基づき一層の認知症施策推進が求められています。</p>	<p>認知症の理解と地域共生社会の推進</p>	<p>地域での見守り体制を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワーク協力機関(機関) R6 R7 R8 30 32 34 ・見守りネットワーク登録者数(人) R6 R7 R8 20 23 26 ・シール配布数(件) R6 R7 R8 5 5 5 ・見守りサポーターの家協力機関(機関) R6 R7 R8 15 18 20 ・元気アップ応援企画協力機関(機関) R6 R7 R8 10 13 16 		<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワーク協力機関(機関) R6 R7 R8 25 26 ・見守りネットワーク登録者数(人) R6 R7 R8 15 15 ・シール配布数(件) R6 R7 R8 4 3 ・見守りサポーターの家協力機関(機関) R6 R7 R8 13 13 ・元気アップ応援企画協力機関(機関) R6 R7 R8 7 7 	○	<p>どこシル伝言板については、適時ご案内を行っています。引き続き制度の適切な案内を進めていきます。</p> <p>見守りサポーターの家や元気アップ応援企画協力機関については、登録数を増やすことができていない状況です。第10期の計画策定もあつたことから、高齢者見守りネットワーク事業と併せて今後どのように事業を展開するかを改めて検討していく必要があります。</p>
20	①自立支援、介護予防、重度化防止	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、地域への参加状況は「町内会・自治会」でも2割程度ですが、一方、地域づくりの参加意向は約5割の方がいると回答しています。</p> <p>社会との交流を持ちたいと考える高齢者や住民が互いに支え合える地域づくりが必要となっています。</p>	<p>生活支援体制整備事業の推進</p>	<p>高齢者の多様化するニーズと地域資源をマッチングする「生活支援コーディネーター」の配置や、行政・介護・医療など多様な関係主体が関わる「協議体」の活用で地域資源のコーディネート機能を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの配置人数(人) R6 R7 R8 2 2 2 ・協議体の開催回数(回) R6 R7 R8 2 2 2 ・年間延べ活動回数(回) R6 R7 R8 96 96 96 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの配置人数(人) R6 R7 R8 2 2 ・協議体の開催回数(回) R6 R7 R8 0 1 ・年間延べ活動回数(回) R6 R7 R8 457 323 	○	<p>町職員・包括職員・生活支援コーディネーターが別々の場所に勤務していることから連携が取りづらいことが課題です。</p> <p>このため、形式的な協議会の開催のみではなく、ロゴチャットなどの利用も検討し、コンタクトを取る機会を増やすことで、地域課題への相互認識をより深めて事業に取り組みます。</p>

項目番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策
21	①自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、地域への参加状況は「町内会・自治会」でも2割程度ですが、一方、地域づくりの参加意向は約5割の方があると回答しています。 社会との交流を持ちたいと考える高齢者や住民が互いに支え合える地域づくりが必要となっています。	生き生きクラブ(老人クラブ)活動の育成	住民による自主的な地域活動や支え合い活動は、高齢者の健康づくりや地域包括ケアを推進するための環境づくりに寄与するものとなっています。 スポーツ、レクリエーション、趣味活動や健康づくりなどのさまざまな活動の支援を行います。 ・生き生きクラブ(老人クラブ) クラブ数 R6 R7 R8 35 36 会員数(人) R6 R7 R8 938 958 会員数(人) R6 R7 R8 1,050 1,050 1,050		・生き生きクラブ(老人クラブ) クラブ数 R6 R7 R8 35 36 会員数(人) R6 R7 R8 938 958	◎	生き生きクラブのクラブ数及び会員数は目標の8割に届いています。男性の参加を促すことができる取り組みを検討していきます。
22	②介護給付等費用の適正化		要介護認定の適正化	要介護認定申請等に係る作成書類について、複数でのチェックを全件実施します。		審査会資料を作成するにあたり、審査基準の標準化を図り、記載内容に矛盾がないよう事前に複数で確認を行いました。	◎	高齢者の増加に伴い、申請件数の増加による業務量の増大が見込まれていることから、DXによる業務効率化を検討しています。当町は職員他、認定調査を居宅介護支援事業所に委託しているため、DX導入方法について山武郡市の状況を確認し検討します。
23	②介護給付等費用の適正化		ケアプランの点検	適正なサービス給付を促すため、ケアプラン点検を実施します。 ケアプラン点検数 R6 R7 R8 50 50 50		給付適正化を検証するため、トリトンモニターを用いて、給付に疑義のある事例を抽出し、書面による事業所への照会回答で、年4回に分けて点検を実施した。 ケアプラン点検数:110件(R6)、63件(R7)	◎	点検には、介護保険サービスへの一定程度の理解が必要であるが、専任者を設けて業務に当たっているわけではないため、点検の質を維持しながら件数を多くこなすことは難しい状況です。このため、年間件数は目標値に抑え、各事例の状況を正確に把握することで適正な給付を促進します。 令和8年度は、介護支援専門員の資格を持つ職員を業務担当に配置することで、点検の質の維持と向上を図ります。
24	②介護給付等費用の適正化	介護保険財政を支える生産年齢人口が減少していくため、給付費の不要な増大を抑制する必要がある。	住宅改修の点検	住宅改修の事前申請及び福祉用具購入支給申請について、適正であるか全件点検します。また、必要に応じて訪問調査を実施し、利用者の実情を確認したうえで、給付の決定を行います。		R6年度 給付実績 住宅改修:61件 訪問調査:7件 R7年度 給付実績 住宅改修:71件 訪問調査:10件	◎	今後も必要に応じて訪問調査を実施し、適切な給付に努めます。
25	②介護給付等費用の適正化		福祉用具購入・貸与調査	必要に応じて訪問調査を行い、必要性や利用状況を確認します。		カタログの写しを提出させ、実施の理由に適したものであるか点検し、疑義がある場合はケアマネに確認しました。 また、必要に応じて訪問調査を実施し、利用者の実情を確認したうえで給付の決定を行いました。 R6年度 給付実績 福祉用具購入:128件 訪問調査:7件 R7年度 給付実績 福祉用具購入:134件 訪問調査:10件	◎	今後も必要に応じて訪問調査を実施し、適切な給付に努めます。
26	②介護給付等費用の適正化		医療情報との突合・縦覧点検	国保連合会からの情報をもとに、サービスの整合性や算定日数等を毎月点検します。		国保連合会からの介護給付適正化情報を毎月ダウンロードして、確認するように努めました。詳細点検は、ケアプラン点検の実施と併せて、年4回に分けて行いました。	◎	当町では、トリトンモニターシステムを用いて、医療情報との突合や縦覧点検に関わる内容について確認点検を行っています。今年度から業務担当が変わることもあり、あらためて国保連合会から提供される介護給付適正化情報について把握・活用を検討するため、令和8年度においては、国保連合会が実施する個別相談支援を希望し、知識の習得に努めます。

項目 番号	第9期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策

※行が足りない場合は追加してください。なお、計画に定めた全ての取組と目標についてご報告ください。